

感染対策ニュース

令和6年9月第20号

エムポックス（モンキーポックスウイルス：サル痘）

コンゴ民主共和国周辺国でエムポックス（4類感染症）の急激拡大をしています

WHO 世界保健機構は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態宣言」がだされました。厚生労働省から山梨県にも適切な対応依頼が来ています。

感染源：主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類が自然宿主と言われており、感染した動物に噛まれる、感染した動物の血液、体液、皮膚病変（発疹部位）との接触による感染が確認されている。

感染経路：感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染する。
（接触感染・飛沫感染）

症状：サル痘の潜伏期間は7～14日（最大5～21日）、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するといわれている。

治療：症状に応じた治療がされる。多くの場合は、発症から2～4週間で回復する。

予防：天然痘ワクチンが有効

各病棟の患者様・利用者様への1人1日の手指衛生の回数 患者様・利用者様に触れる前には必ず、手指衛生をしよう

WHO では **1日20ml** 使用が目安。当院では使用量と回数は同じになっています。5月に各病棟で一カ月の1人当たりの使用量測定をしています。

使用量は職員により、かなり異なっているので、**手指衛生を必要な場面で行っていない人**は、**しっかり行うようにしてください**。**全病棟少ない**ですが、**特に2階・4階病棟が少ない**です。

